





「サイボスレーダー」を活用しよう！

サイボス室で監視している河川の水位情報のほか、雨量やダム情報など、県が収集したデータは、ウェブサイトに公開されています。それが静岡県土木総合防災情報サイト「サイボスレーダー」です。大雨が降ると、近くの川の様子に気になりますよね。そんな時は、パソコンやスマートフォンから川の様子を確認することが出来ます。太田川流域の河川監視カメラは、23箇所に設置されています。カメラの設置場所はマップをご覧ください。川の水位以外にも、地震や台風、気象注意報・警報など静岡県に関わる最新の防災情報が網羅されているので、とても便利です。自分や家族、友人の身を守るためにも、活用していきましょう。

《サイボスレーダー》

http://sipos.pref.shizuoka.jp/

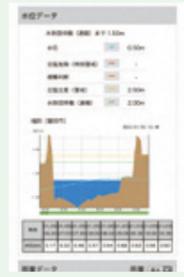


QRコードからご覧ください



水位データ

普段に比べ、どれくらい水位が上がっているかわかります。



雨雲の様子

雨が降り出す、またはやむタイミングを予想できます。



ピンポイント天気

週間天気、1時間毎の予報が分かるので、普段から使えそうです。



河川監視カメラの様子

10分毎に画像が保存されているので、時間をさかのぼって変化を見ることが出来ます。



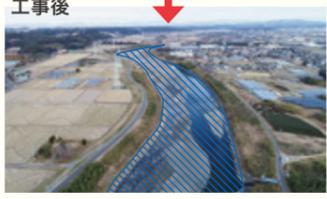
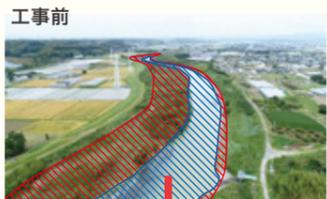
ICT土工による河道掘削工事 水害から住民を守る

河川敷(河道)には、上流から土砂が流れてきて溜まったり、樹木や竹が生えたりします。それが流路の障害となり、大雨時に洪水を引き起こすひとつの要因となるそうです。磐田市岩井付近の太田川河川敷では、洪水対策のための伐採と土砂の撤去工事が、「ICT土工」という方法で行われています。工事の現場では、

掘削する位置や深さを自動で制御する「MC(マシンコントロール)バックホウ」という、ICT建設機械が活躍しています。 ※ICT土工... ドローン等により得た測量データをもとに設計・施工計画を行う。作成した3次元設計データにより、ICT建設機械を自動制御する。従来の方法より省力化が可能で、熟練した技術がなくても工事を行うことが出来る。

河道掘削工事

樹木・土砂 流路



生い茂った樹木の伐採と河道掘削によって流路が広がりました。

土砂はどこに運ばれる？



掘削した土砂(残土)は、13台のダンプカーで次々と掛川の防潮堤へ。残土は工事区間で約37,000m³に及びます。



重機オペレーターの指導のもと 編集局員の試乗体験。



MCバックホウの前で、ICT土工についての説明を聞きました。



磐田市岩井 玉越橋門上流にて



ナマズの凄いと



辻 克美



太田川の中流から下流域に生息するナマズですが、皆さんは川で泳ぐ姿をあまり見たことはいらないでしょうか。 ナマズは夜行性のため、昼間は岩や水草などの陰に潜んでいます。夜になると発達した口ヒゲで餌を探しながら活動し、小魚やカニ・エビなどの甲殻類、昆虫、カエル、亀などの小動物を貪欲に食べています。そんなナマズですが、全身に味覚があることで知られ、味蕾と呼ばれる器官が20万個程あり、なんと全生物の中で最多だそうです。酸いも甘いもしょっぱいも... さぞかし忙しいことでしょう。そんなナマズのためにも、川の水はキレイに保ちたいですね。



息づくカニ伝説



鈴木健太



▲戸締付近



▲葛布の滝近くの岩壁

信号待ちで天浜線の「戸締駅」を眺めたら、ある伝説が脳裏をかすめました。「蟹ヶ池」と言われるこの付近の話で、人をも引きずり込んでしまう程の大きなカニがいたそうです。信号は青。さて、葛布の滝で子どもとサワガニとりに行くか。

滝付近の沢でカニを探していると、岩壁の底でじっと動かない赤いヤツを発見。素早く掴み、引き上げてみる。デカイ！でも... 宴会料理とかでよく出るやつか？子どもは口をポカン。大人の拳より一回り程で赤みを帯びた毛の無いカニ。形もキレイなのだが、だらんとしてピクリともしない様子。あの伝説が電光石火。子どもと目が合う。崩れないように静かに元の場所へ戻し、自然と手を合わせる親子でした。

探してみよう！ 太田川水系の魅力。



太田川水系一覧

- 1 太田川 2 ぼう備川 3 今ノ浦川 4 古川 5 倉西川 6 磐田久保川 7 半ノ池川 8 安久路川 9 旧ぼう備川 10 祝川 11 磐田田中川 12 原野谷川 13 蟹田川 14 小笠沢川 15 法多沢川 16 宇刈川 17 沖之川 18 逆川 19 馬込沢川 20 垂木川 21 家代川 22 西山沢川 23 東山沢川 24 倉真川 25 初馬川 26 掛川瀬ノ谷川 27 掛川戸沢川 28 神代地川 29 海老名川 30 西之谷川 31 敷地川 32 小敷川 33 中沢川 34 一宮川 35 伏間川 36 瀬入川 37 三倉川 38 葛布川 39 大府川



桶ヶ谷沼の異変

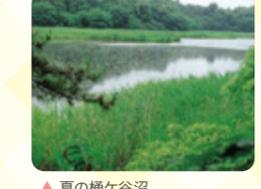


安間美恵子

ベッコウトンボで有名な桶ヶ谷沼。広さ7.4ヘクタールの沼に、県内のトンボの約3分の2、国内の約3分の1の種類の生息が確認されています。しかし、長年にわたり観察を続けている桶ヶ谷沼スタッフによると、天敵の増加や、環境の変化などにより異変が起きているようです。 このような現状を好転させるため、各種団体が一生懸命対策を講じ、沼の環境を少しでも良くしようとかんがっています。 沼を守っている人たちに感謝し、四季折々、変化する風景を楽しみながら、たくさんの鳥や昆虫、植物に会いに来てください。



▲ベッコウトンボ



▲夏の桶ヶ谷沼

出典: 桶ヶ谷沼の「生きものガイド」



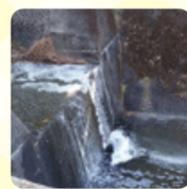
氷瀑か!? 川凍る!



鈴木敦子



▲凍った法多沢川



▲半分凍った川

皆様は近くの川が凍っているのをご覧になったことがありますか? 全国ニュースで聞くことはいくらでも... 遠州ではほとんどお目にかかることのない情景です。 真冬のある日「法多沢川が凍っていた!」と知人が珍しい写真を見せてくれました。法多沢川は、静岡県理工科大学の南側を流れる4.1kmの二級河川です。 連日の冷え込みと遠州の空っ風が作り出した造形でしょうか。小規模ですが、川の落差はまるで滝が凍っているかのように見えました。気象条件と環境がそろえば、袋井でもこのような情景を見ることが出来るのだと大変驚きました。残念ながら、次の日にはいつもの法多沢川に戻っていたようです。 私も一月下旬に「凍る川」を実際に見に行ってみました。その日は半分凍った状態でした。



カワセミが 飛ぶ祝川



大石佳典

磐田市のほぼ中央部を流れる祝川は、以前、工場からの排水で汚れていたが、現在は管理され、とても綺麗な流れになった。川に沿って散歩をする時、春には鯉や鮒そして幼い頃に観た鯉、夏には亀が甲羅を干す姿、冬には鴨などの野鳥を観ることが出来る。 チィチィと甲高い声で鳴くのは、鮮やかな水色の体の小鳥、カワセミだ。日本の野鳥でこんなに鮮やかな色の鳥はいない。彼らは小枝にとまって小魚をじっと待ち、タイミングを見計らって川に飛び込み、長くくばしばし獲物を捕らえる。その姿を探索するのは忍耐が必要だし、見つけても彼らはとても警戒心が強いので、そっと見守る事が必要だ。



▲細い枝にとまるカワセミ



▲獲物を捕らえる